

中期経営計画 *SZ-20* の進捗状況

2012年 5月10日

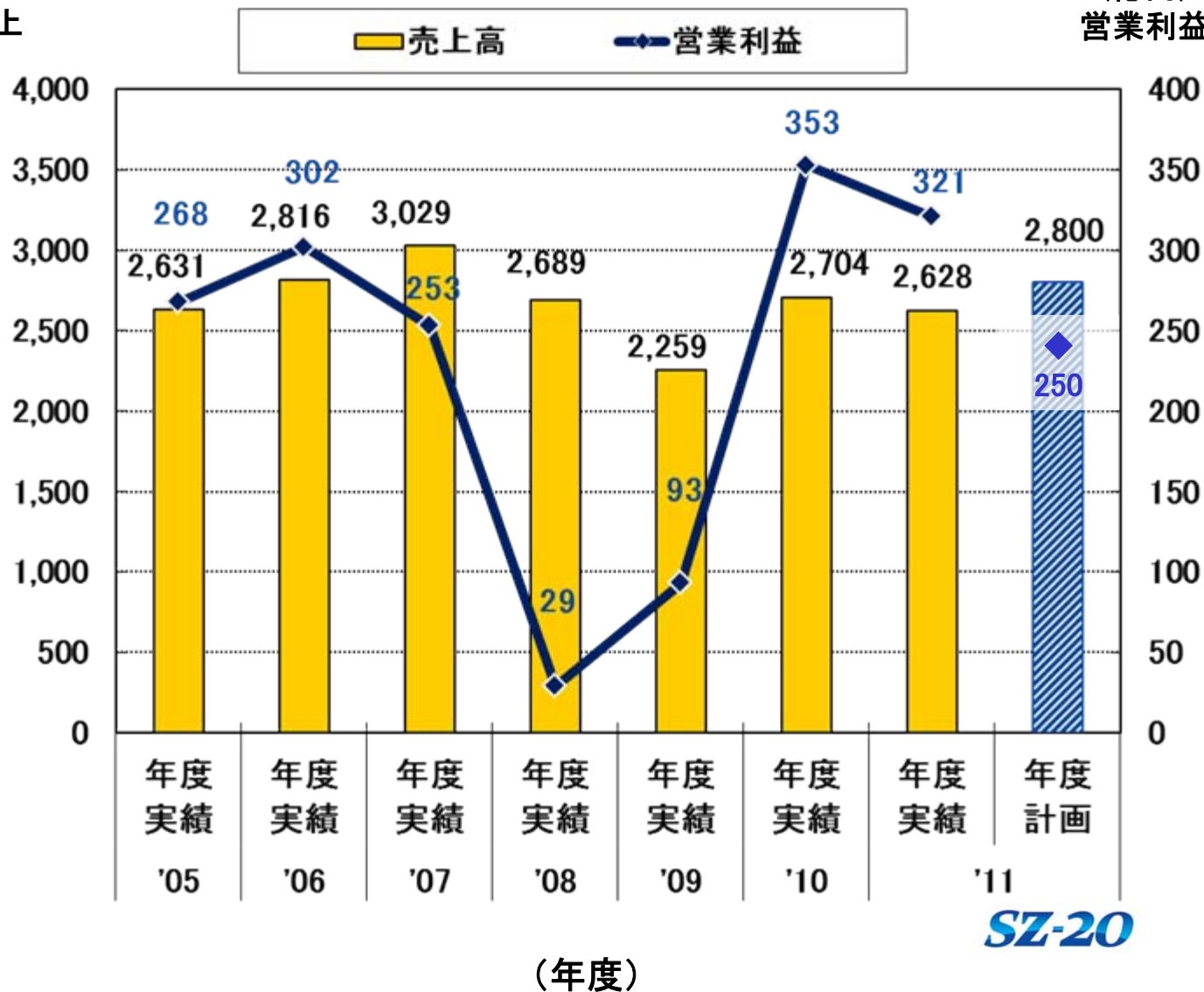
日本ゼオン株式会社

代表取締役社長 古河 直純

連結業績推移

(億円)
売上

(億円)
営業利益

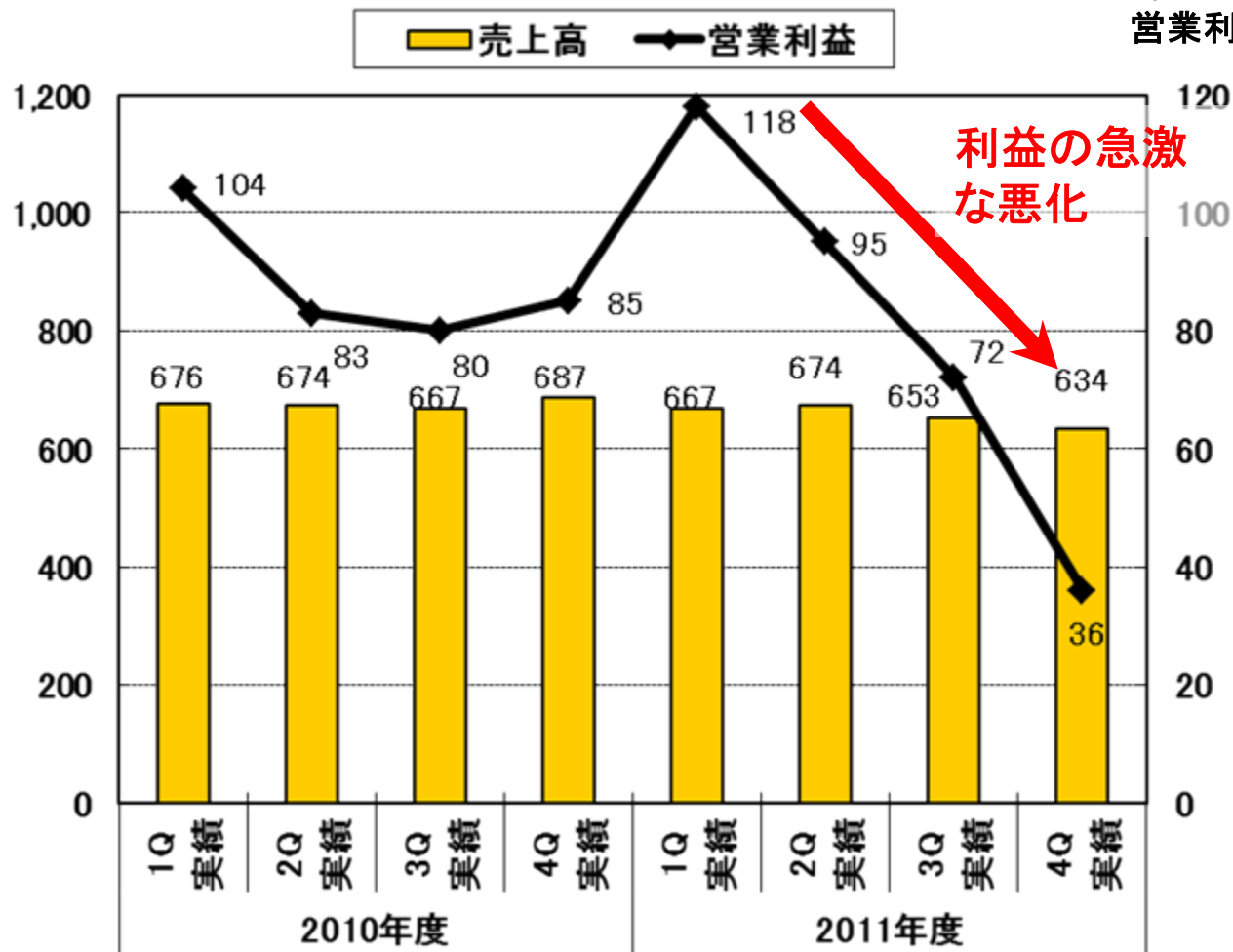


SZ-20

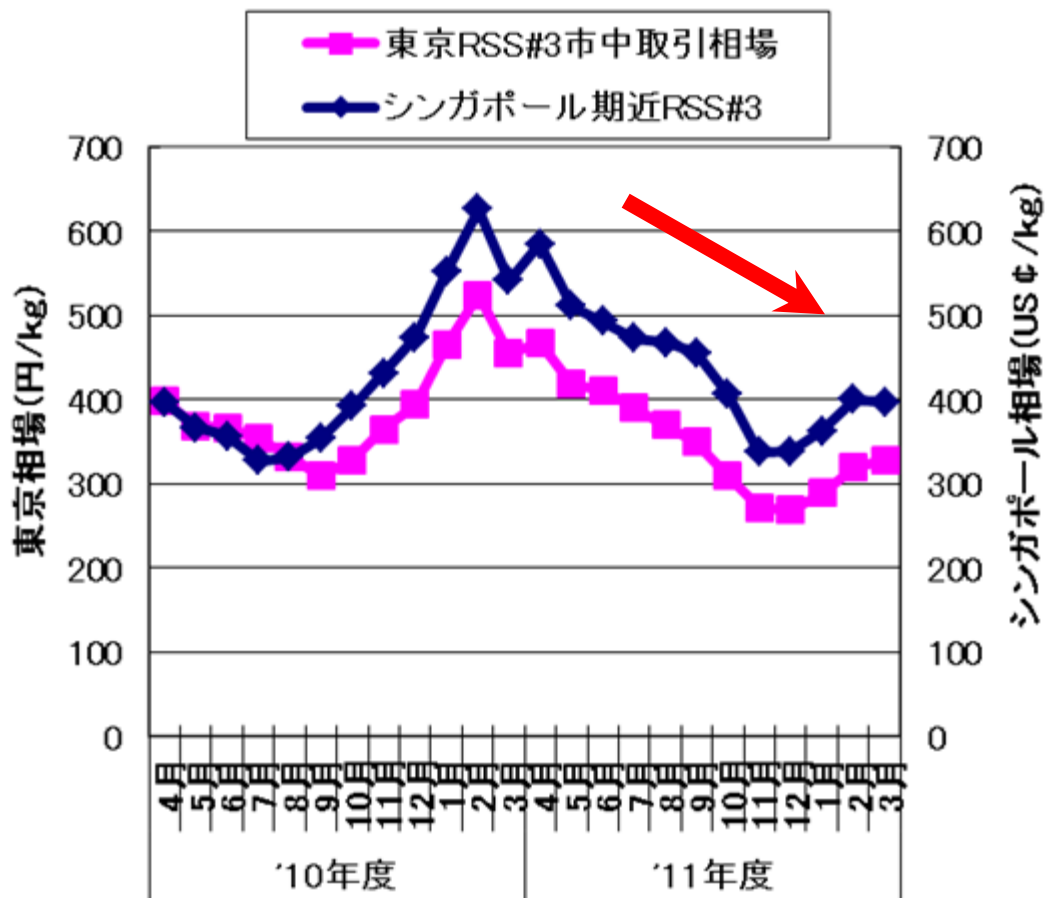
連結業績推移(四半期毎)

(億円)
売上高

(億円)
営業利益



天然ゴム市況



(出典: 合成ゴム月報)

SZ-20

(よみかた:えすぜつとーにじゅう)

2011～2013年度までの
実行計画に展開

重要な
価値観

スピード

対話

社会貢献

大切にする
ゼオンらしさ

－仲間との
相互信頼－

2020年のありたい姿

－ 化学の力で

未来を今日にする

ZEON －

わたしたちゼオンは、お客様の夢と
快適な社会の実現に貢献し続けます。

エラストマー素材事業と高機能材料事業のそれぞれの強みを磨き上げ、両輪でグローバルに事業を拡大する

2020年度連結売上高5,000億円

2020年度海外生産高比率50%

事業セグメント別戦略

エラストマー素材事業

成長市場への
グローバルな対応による
強い事業の更なる強化

高機能材料事業

重点3事業分野での
研究開発の加速による
事業拡大

事業セグメント別戦略

エラストマー素材事業

成長市場への
グローバルな対応による
強い事業の更なる強化

高機能材料事業

重点3事業分野での
研究開発の加速による
事業拡大

エラストマー グローバル展開

成長市場へのグローバルな対応による強い事業の更なる強化



中国 PSC(パウダースラッシュ材料)工場

中国
管理性公司設立・
PSC生産拠点

米国
Zetpol増設



ZCLP テキサス工場

タイ
石油樹脂増設

韓国
販売拠点



ZCT (Zeon Chemicals Thailand社)

インド 東京材料
販売拠点

ベトナム
加工拠点







ベトナム起工式

シンガポール
S-SBR生産拠点

- 既存生産拠点
- 新設生産拠点
- 既存販売拠点
- 新設販売拠点

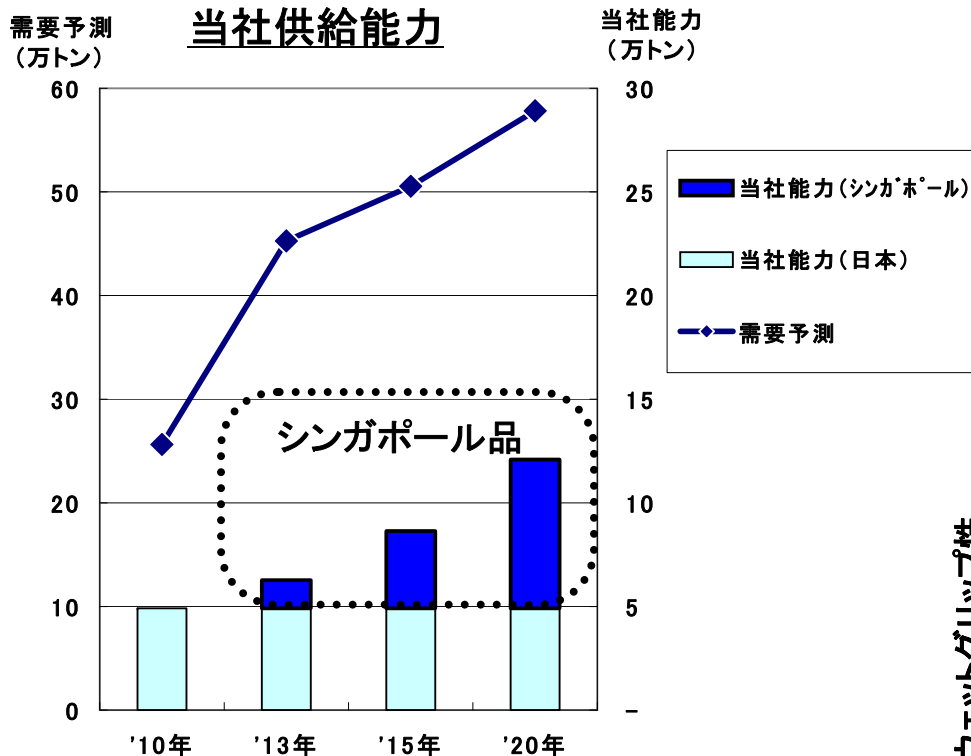
エラストマー グローバル展開

生産拠点	進捗状況		
タイ 石油樹脂 増設	着工予定 2012年7月		稼働予定 2013年7月
ベトナム 加工拠点 新設	着工 2012年3月 		稼働予定 2013年4月
シンガポール S-SBR 新設		建設中 	稼働予定 2013年7月
米国 Zetpol 増設			稼働 2012年4月 
中国 PSC 新設			稼働 2012年4月 

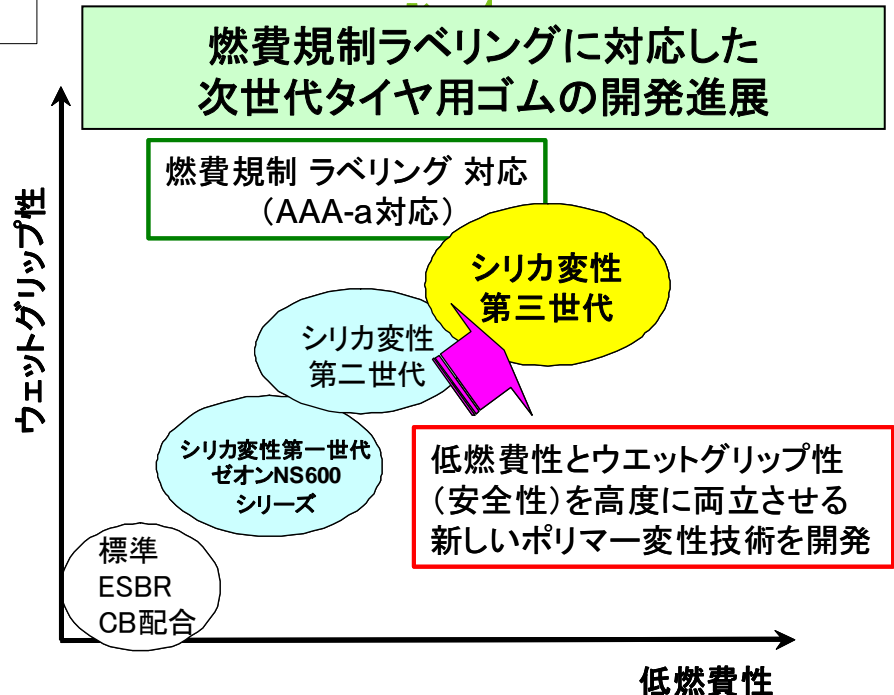
※PSC: パウダースラッシュ材料

拡大する低燃費タイヤ市場向けに供給能力を確保する

低燃費タイヤ用S-SBR需要予測と



需要予測出典: 当社推定



自動車材料のグローバル化への対応

自動車使用年数の長期化

燃料の多様化と寒冷地対応

小排気量過給機によるエンジン温度上昇

新興市場の拡大

◆事業規模の拡大

ZCLPテキサス工場
2012年4月より生産能力
の25%増強

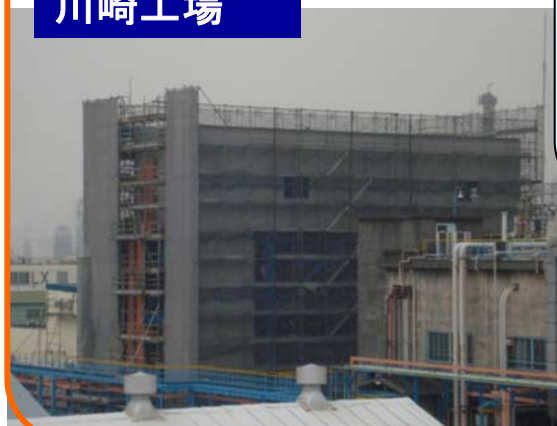
ZCLPテキサス工場



◆新 Zetpol® による高機能化対応

川崎工場
2012年9月：完工予定

川崎工場



(新 Zetpol® の特徴、強み)

- 従来比 2倍のシール寿命
- 従来比 +20°Cシール耐熱性
- バイオ燃料耐性
- 耐油性と耐寒性のバランス向上

事業セグメント別戦略

エラストマー素材事業

成長市場への
グローバルな対応による
強い事業の更なる強化

高機能材料事業

重点3事業分野での
研究開発の加速による
事業拡大

高機能材料事業の重点3事業分野

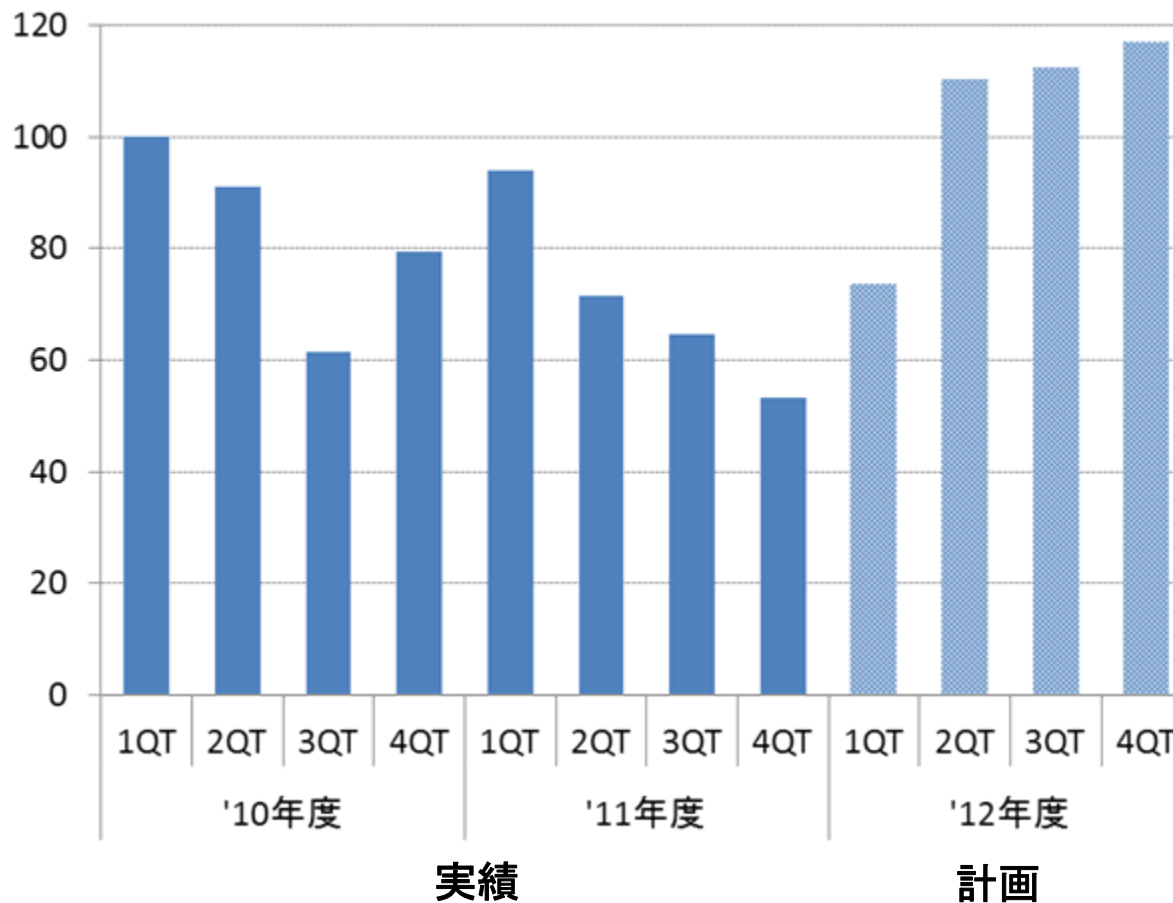
情報用部材
(オプト用) (実装用) (電子用)

エネルギー用部材

メディカルデバイス

高機能素材

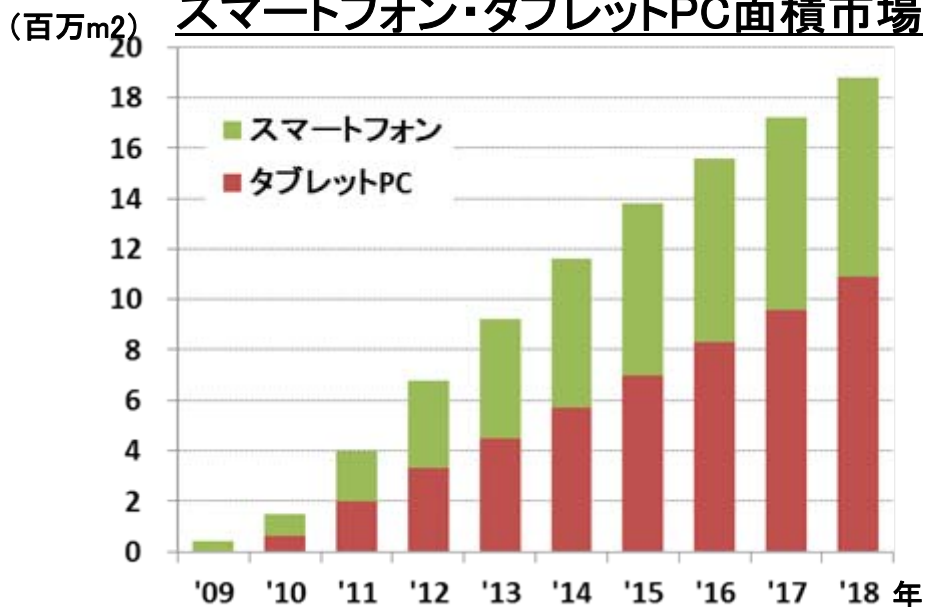
当社光学フィルムの販売数量推移

販売数量
(指数)

※ 指数は'10年度1Qの販売数量を100とした場合

「斜め延伸位相差フィルム」新設備が完成

スマートフォン・タブレットPC面積市場



(出典:ディスプレイサーチ)



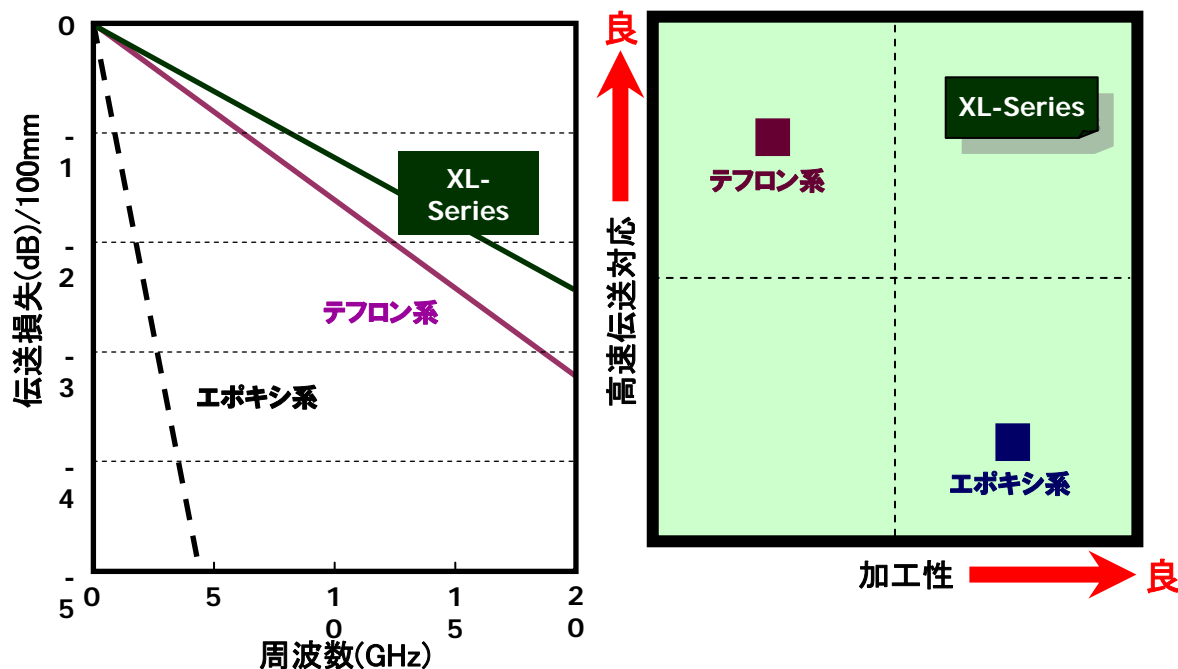
既存の斜め延伸設備と合算した生産能力は1500万m²／年になる。

- 大型液晶製品からスマートフォンなどの中小型液晶製品まで対応する光反射防止フィルムの製造が可能。
- 有機ELの光反射防止用偏光板のベースフィルムとして対応。

米国IBMと次世代メインフレームコンピュータ向け 新規プリント配線板用絶縁材料の共同開発を発表

【当社が新たに開発したプリント配線板用絶縁材料の特長】

開発品名: ZEONIF™ "XL-Series"

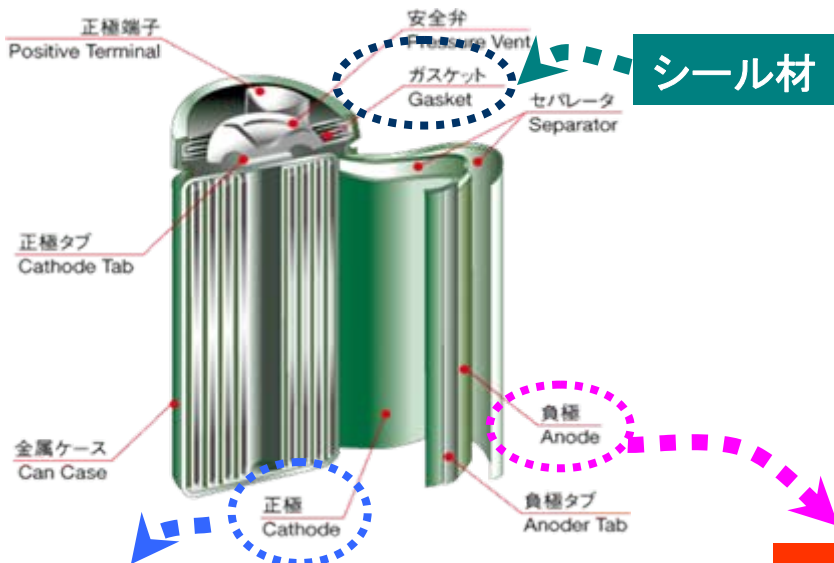


IBMのメインフレームコンピュータ
(写真提供: IBM T.J.Watson研究所)

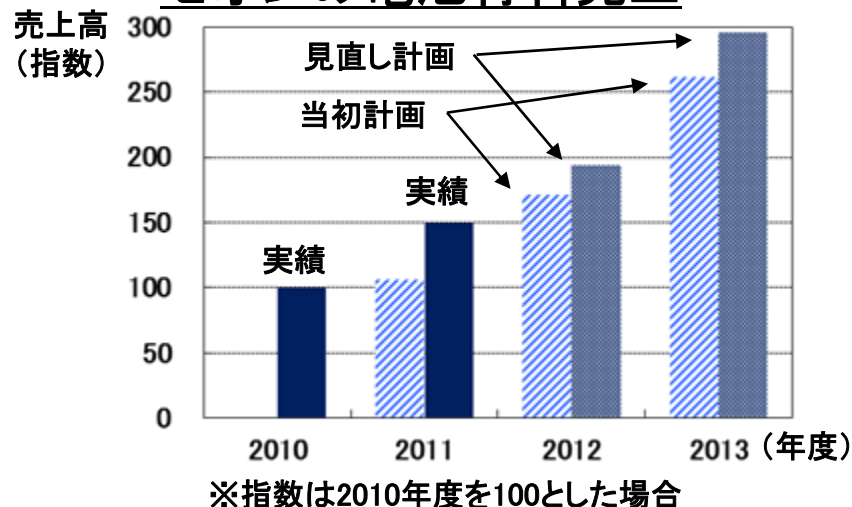
既存材料に比べて極めて低い伝送損失を示す一方で、非常に高い加工性を有しています。本共同開発にて、現状の更なる特性向上を目指します。

キーマテリアルの製品化に成功、当初計画を上回り、売上を拡大中。

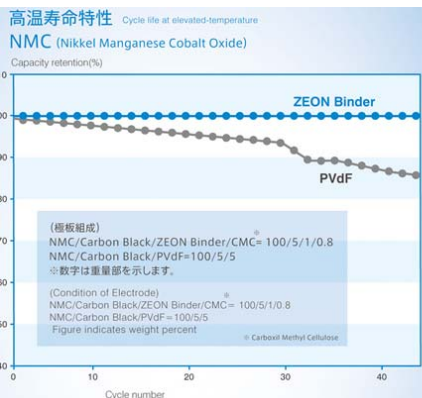
ゼオンのリチウムイオン電池向け製品



ゼオンの電池材料売上



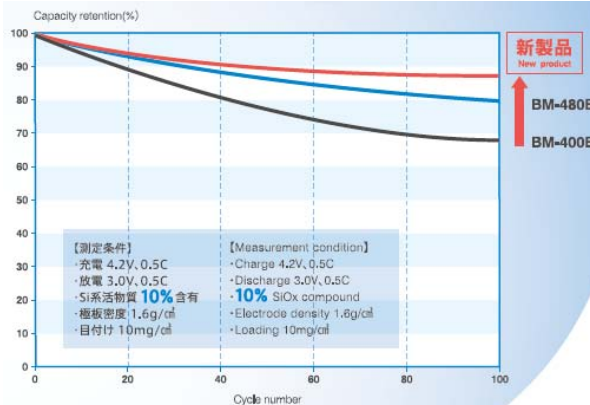
水系正極用バインダー



高温寿命特性
に優れる

スマートグリッド
用途等で実用化

シリコン系活物質対応 水系負極用バインダー



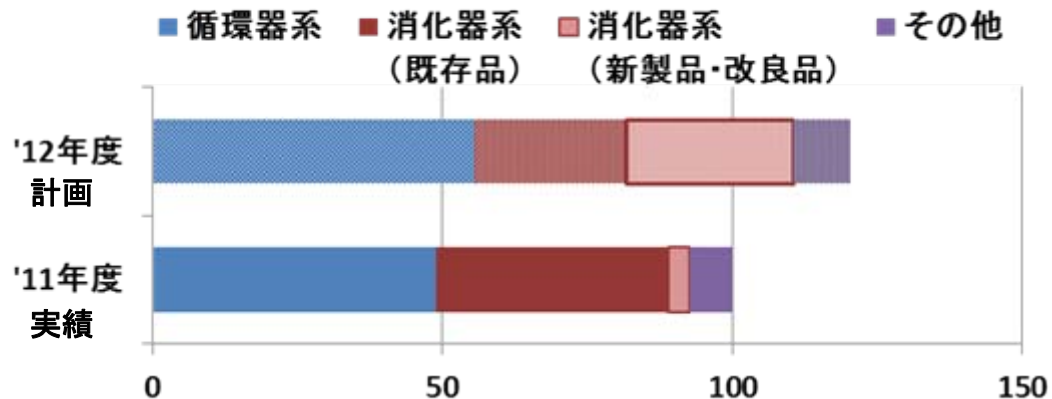
膨張収縮が大きい
Si系活物質での
寿命特性に優れる

高容量蓄電を実現

新製品・改良品の販売開始

分野	分類	製品	販売開始	
			'11年度	'12年度
循環器	新製品	EP用デフレクタブルシース		○
消化器	改良	胆管内視鏡用ベアメタルステント改良タイプ	○	
	改良	胆管内視鏡用カバードステント改良タイプ		○
	改良	EMR/ESD用止血クリップ改良タイプ(装置・クリップ)	○	
	改良	胆道結石碎石デバイス改良タイプ	○	
	新製品	フラッシュ機能付バイポーラESDナイフ	○	

ゼオンのメディカルデバイス売上



売上高
(指数)

※指数は2011年度を100とした場合

産業技術総合研究所(産総研)との共同開発

単層カーボンナノチューブ(CNT)用途開発を加速

CNT用途開発

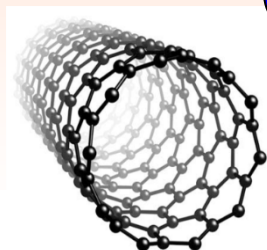
技術研究組合単層CNT融合
新材料研究開発機構(TASC)

理事長:

日本ゼオン(株)取締役社長
古河直純

参加企業

産業技術総合研究所、東レ株式会社、
日本電気株式会社、帝人株式会社、
住友精密工業株式会社
日本ゼオン株式会社



◆単層カーボンナノチューブ不織布
バインダーなしで自立性のあるA3サイズCNT不織布を作製



◆高熱伝導材料

φ500mmサイズのCNT/アルミニウム
複合体で、アルミの3倍の熱伝導性を
達成

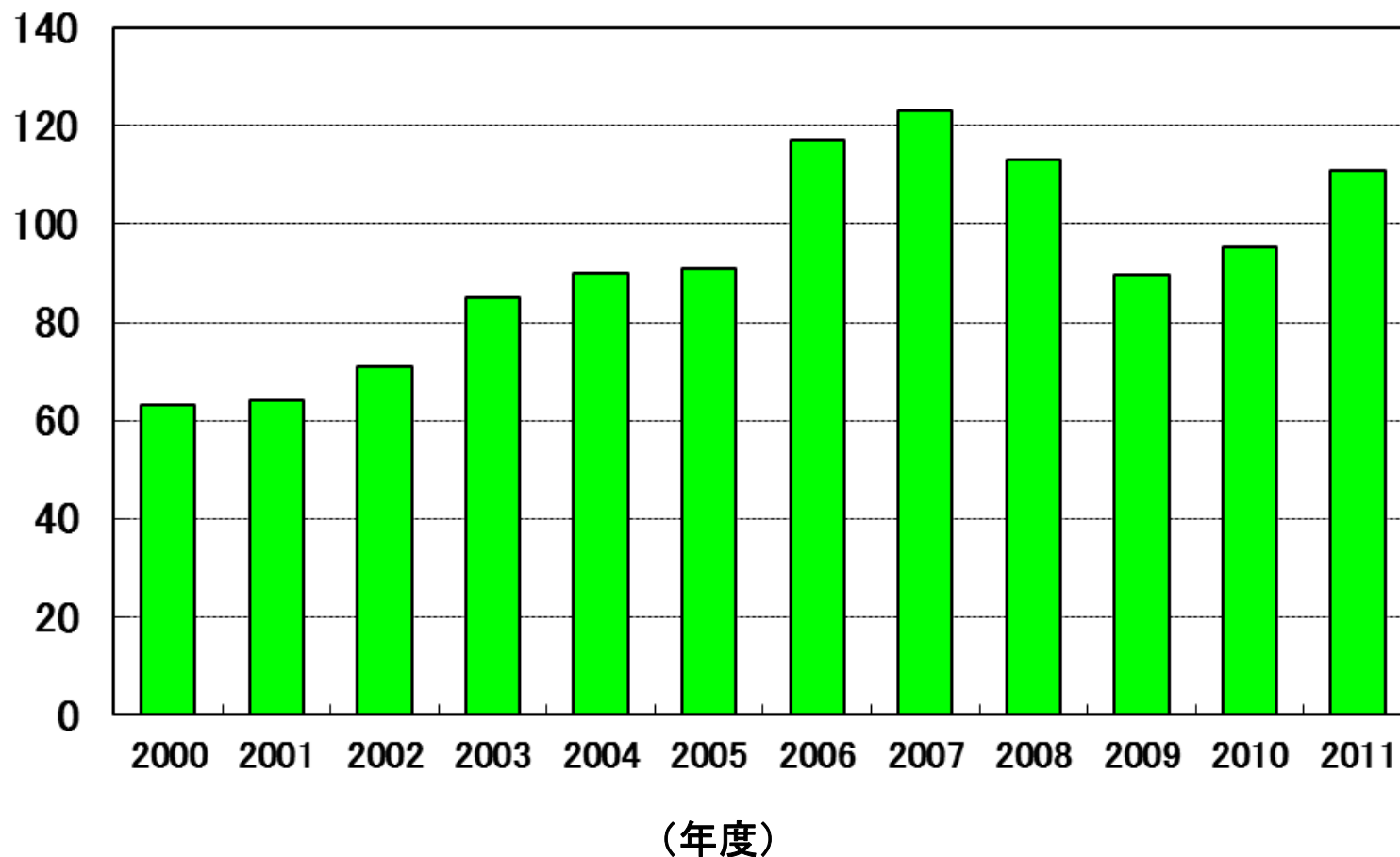


(出典:単層CNT融合新材料研究開発機構)

研究開発費の推移

(億円)

連結研究開発費推移



コスト競争力の向上

【生産革新】※



トップダウン
で推進

ゼオンのコスト競争力強化

ボトムアップ
で活動

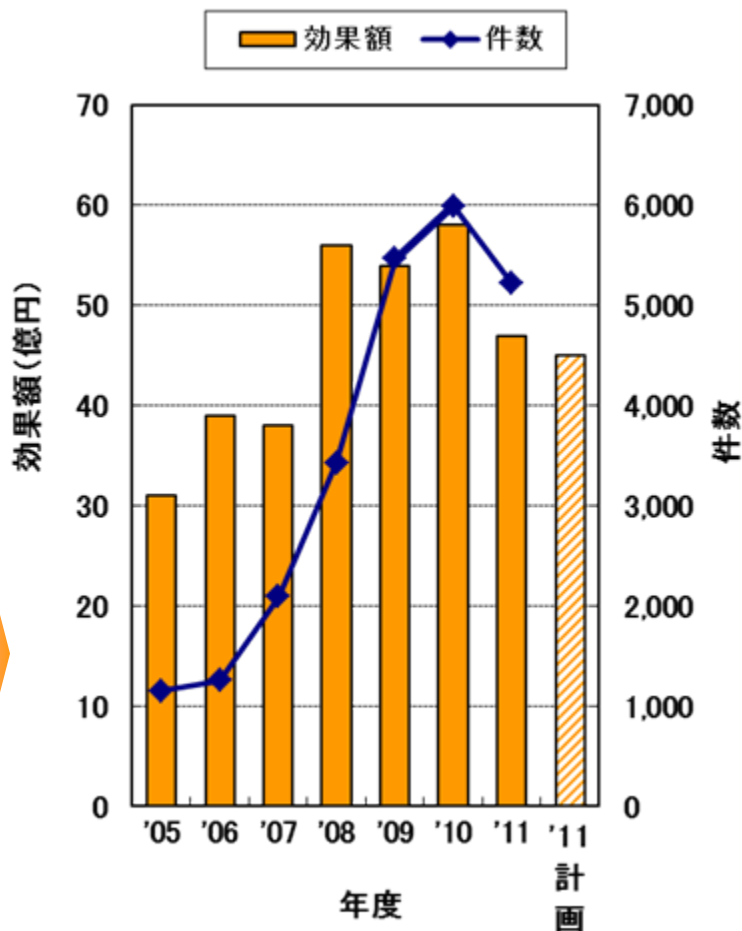
【ZΣ活動】

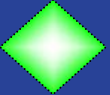
- ★コストダウンテーマ
- ★サークルテーマ(小集団活動)
- ★コスト意識醸成・教育

※生産革新:ダイセル式生産革新手法

革新・改善活動を継続

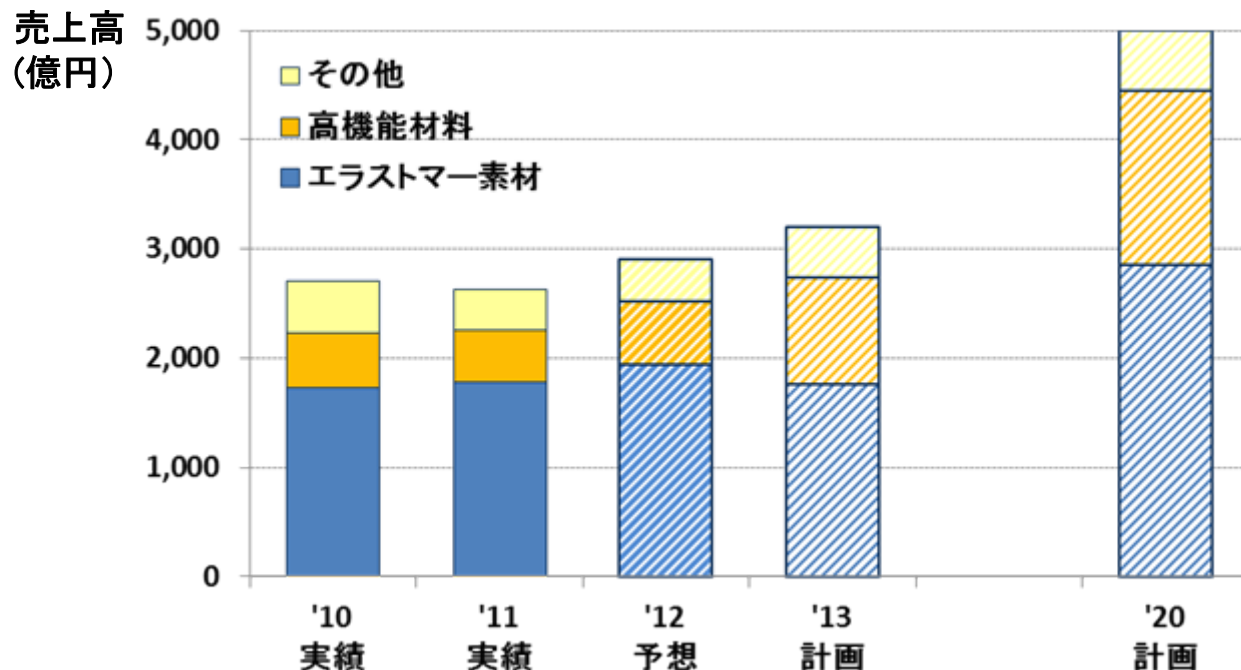
ZΣ活動 効果額・テーマ件数推移





業績目標

2020年度 連結売上高5,000億円 を目指す



連結売上高 (億円)	'10年度	'11年度	'12年度	'13年度	'20年度
	2,704	2,628	2,900	3,200	5,000

設備投資額 (億円)	'10年度	'11~'20年度累計
	103	3,200

スピード

対話

社会貢献

-仲間との相互信頼-

以 上

本資料に掲載されている当社の計画、見通しなどは現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は様々な要因により、異なる結果となる場合があります。

日本ゼオン株式会社 CSR統括部門 広報室
東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービル
Tel:03-3216-2747, Fax:03-3216-0501